

琵琶湖環境対策特別委員会

- 1 開催日時 平成 29 年 5 月 23 日（火） 14 時 04 分～16 時 17 分
- 2 開催場所 第一委員会室
- 3 説明員 琵琶湖環境部長および関係職員
- 4 議事の概要

（１） 付議事件に係る関係部局の取り組みについて

ア．琵琶湖保全再生施策に関する計画の概要について

委員からは、琵琶湖の保全再生については、どの時代のどのような状態を目指すのかをしっかりと示す必要がある、国や市町と十分に連携して取り組む必要がある、などの意見が出された。

イ．琵琶湖活用について

委員からは、琵琶湖と森、川、里のロケーションを活かすことが重要であり、プレジャーボート等のレジャーに活路を求めることは、琵琶湖の保全再生という本筋から外れるのではないかと、琵琶湖の活用を検討するに当たっては、現状を十分に把握した上で、規制と活用の考え方を整理すべきである、などの意見が出された。

ウ．アユ資源の状況について

（２） 委員会の運営方針について

委員長から今年度の重点調査項目は「琵琶湖保全再生施策に関する計画の取組状況について」、「琵琶湖活用の推進について」の２項目としてはどうかとの提案がされた。

それに対し、委員からは、「琵琶湖活用の推進について」は、琵琶湖を守ることを大前提としてということだとは思いますが、活用の推進という言葉はふさわしくないのではないか、現状もしっかりと把握できていない中で、活用という言葉は簡単に使うべきではなく、重点的に調査する中身をしっかりと整理すべきである、などの意見が出され、重点調査項目については、各委員から出された意見を踏まえ、次回の委員会で決定することとなった。

運営方針については、「執行部から説明を求めるほか、県内・県外行政調査、県民参画委員会、参考人からの意見聴取等を実施することにより、多面的な調査研究を行う」こととされた。



委員会に配付された資料

- 1 琵琶湖保全再生施策に関する計画（琵琶湖保全再生計画）の策定について
- 2 「琵琶湖活用推進事業」について
- 3 琵琶湖のレジャー利用の適正化について
- 4 湖上スポーツについて
- 5 琵琶湖を活用した教育旅行（体験学習プラン等）の取組について
- 6 アユ資源・漁獲の状況について